平成25年(2013年)12月期
第2四半期

決算概要書

株式会社 船井総合研究所
2013年7月29日(月)

Funai Consulting Inc.

Investors Relations

明日のグレートカンパニーを創る
Funai Soken

目次



1 エグゼクティブサマリー

（１）連結収益状況
（２）通期業績予想に対する進捗状況

2 平成25年12月期第2四半期決算報告

（１）セグメント別経営成績
（２）経営コンサルティング事業における業績動向
（３）連結財務状況
（４）株主還元について

3 今後の見通しと当社の取り組み

（１）各経営コンサルティング事業分野における通期の見通し
（２）過去の業績推移と今後の業績について
（３）持株会社体制への移行について

【本資料に関する注意事項】

1. エグゼクティブサマリー

1. エグゼクティブサマリー

明日のグレートカンパニーを創る Funai Soken

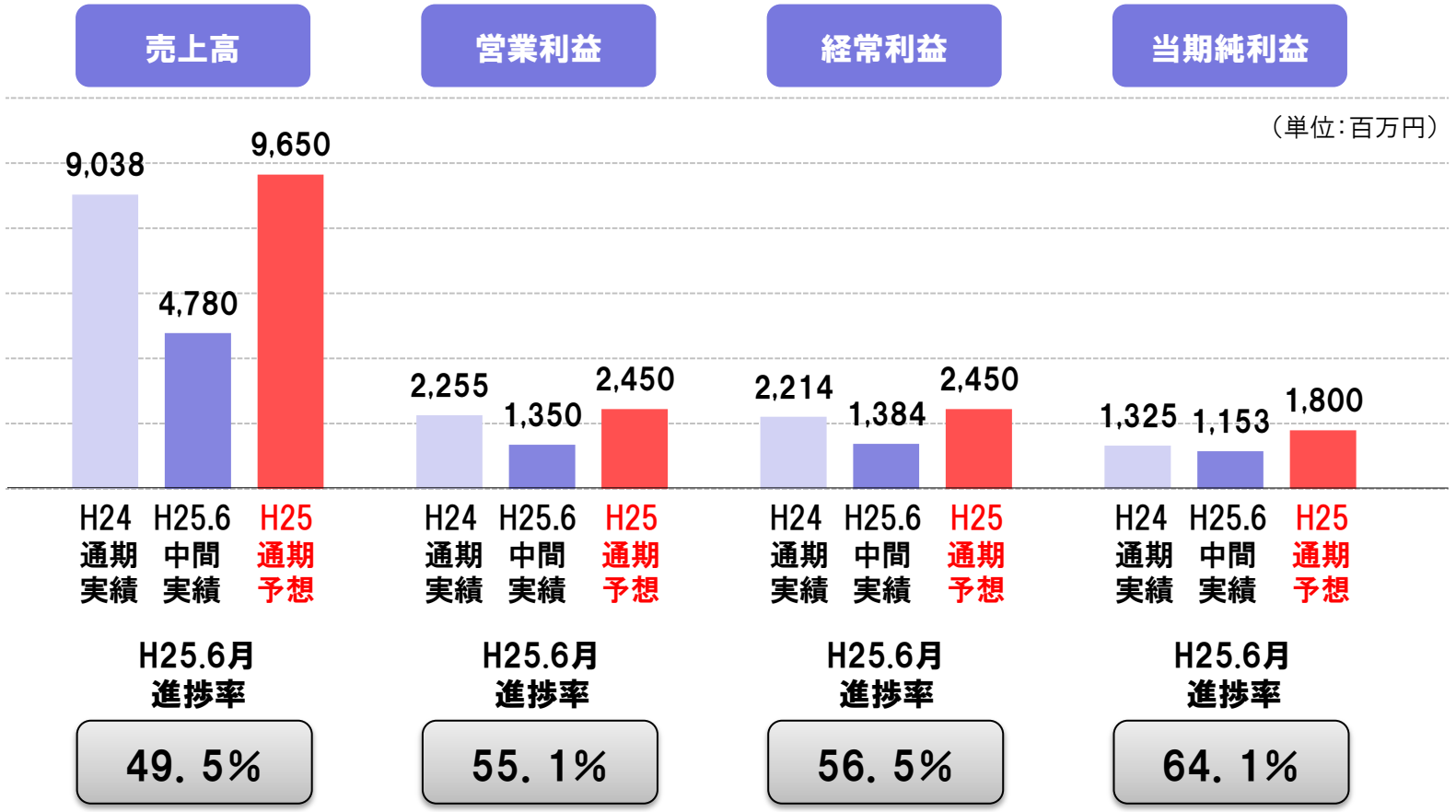
(1)連結収益状況

	24年6月		25年6月			業績予想対比（※25年1月31日公表分）	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	前期比(%)	金額(百万円)	予想比(%)
売上高	4,265	100.0	4,780	100.0	＋12.1	予想4,700	＋ 1.7
営業利益	1,139	26.7	1,350	28.3	＋18.5	予想1,200	＋12.5
経常利益	1,102	25.9	1,384	29.0	＋25.5	予想1,200	＋15.4
四半期純利益	666	15.6	1,153	24.1	＋72.9	予想 700	＋64.8

■売上は、主力の経営コンサルティング事業が引続き好調に推移し前期比12.1%増。
■営業利益・経常利益は揃って増益。経営コンサルティング事業中心の事業構成となり、営業利益率は28.3%、経常利益率も29.0%と高い水準を維持。
■四半期純利益は、投資有価証券の売却益及び船井キャピタル解散に伴う法人税等の圧縮効果により、11.53億円と前期比72.9%増の大幅な増益となった。

(2)通期業績予想に対する進捗状況

連結業績予想



■増収増益の通期予想に対し、主力の経営コンサルティング事業が順調に推移していることもあり、**売上高で49.5%の進捗率、利益に関してはそれぞれ55%を超える進捗率**で推移。

※6月18日年初予想より上方修正　売上高9,600百万円⇒9,650百万円　営業利益2,400百万円⇒2,450百万円
経常利益2,400百万円⇒2,450百万円　当期純利益1,400百万円⇒1,800百万円

2. 平成25年12月期第2四半期決算報告

2. 平成25年12月期第2四半期決算報告

(1)セグメント別経営成績

売　上　高（※外部顧客に対する売上高）

	24年6月		25年6月		
	金額（百万円）	構成比(%)	金額（百万円）	構成比(%)	前期比(%)
経営コンサルティング事業	4,168	97.7	4,669	97.7	+12.0
ベンチャーキャピタル事業	—	—	—	—	—
その他	97	2.3	110	2.3	+13.2
合計	4,265	100.0	4,780	100.0	+12.1

営業利益

	24年6月		25年6月		
	金額（百万円）	構成比(%)	金額（百万円）	構成比(%)	前期比(%)
経営コンサルティング事業	1,136	99.7	1,349	99.9	+18.7
ベンチャーキャピタル事業	-12	-1.1	-22	-1.7	—
その他	13	1.2	20	1.5	+76.8
消去または全社	2	0.2	2	0.2	—
合計	1,139	100.0	1,350	100.0	+18.0

■主力の経営コンサルティング事業については、今期も順調に業績を伸ばし、売上高で前期比12.0%増、営業利益においても18.7%増と好調に推移。

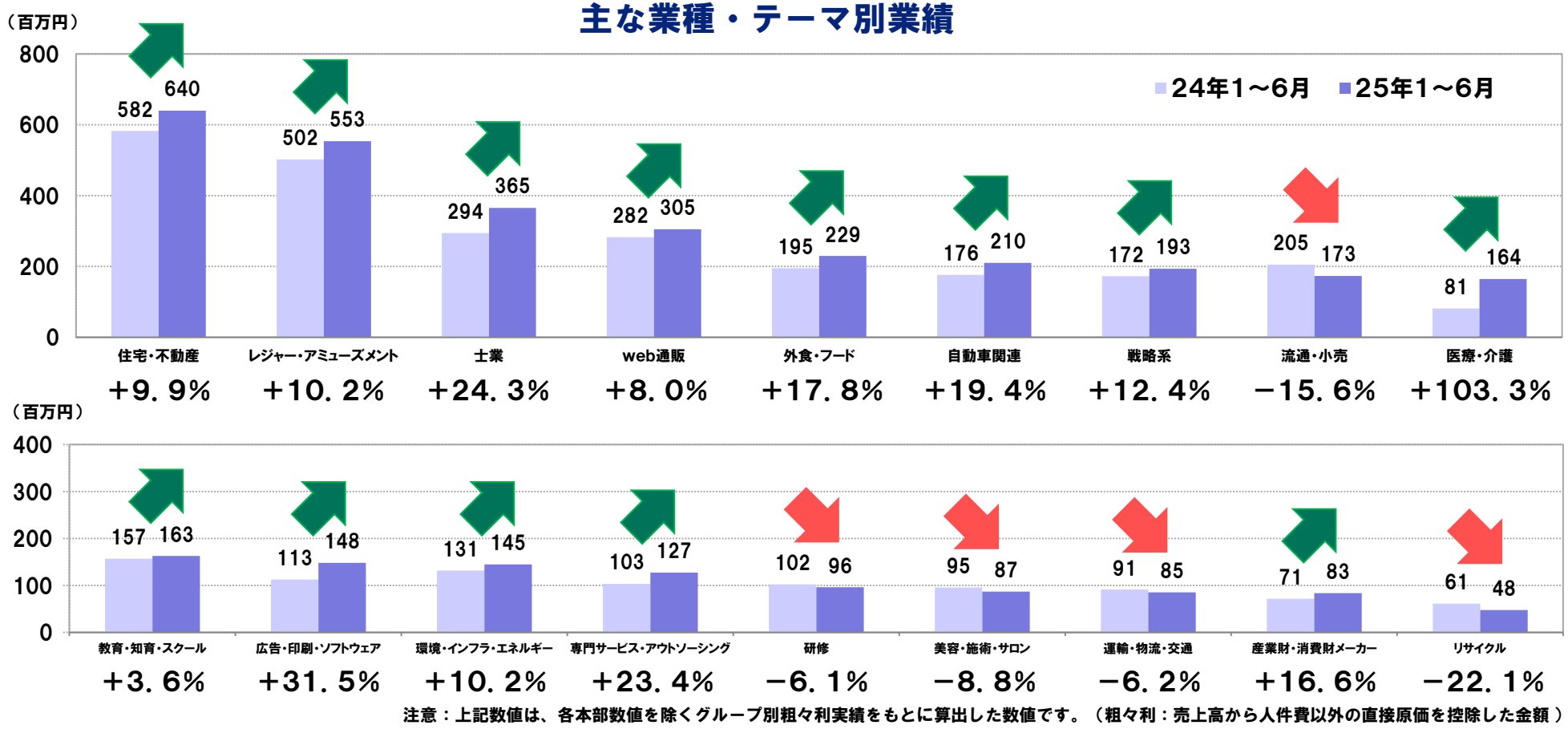
■その他事業についても、今期も好調であり、増収増益で推移。

※ベンチャーキャピタル事業を営む船井キャピタル株式会社は、6月に解散を決議し清算手続中。

2. 平成25年12月期第2四半期決算報告

(2)経営コンサルティング事業における業績動向

主な業種・テーマ別業績



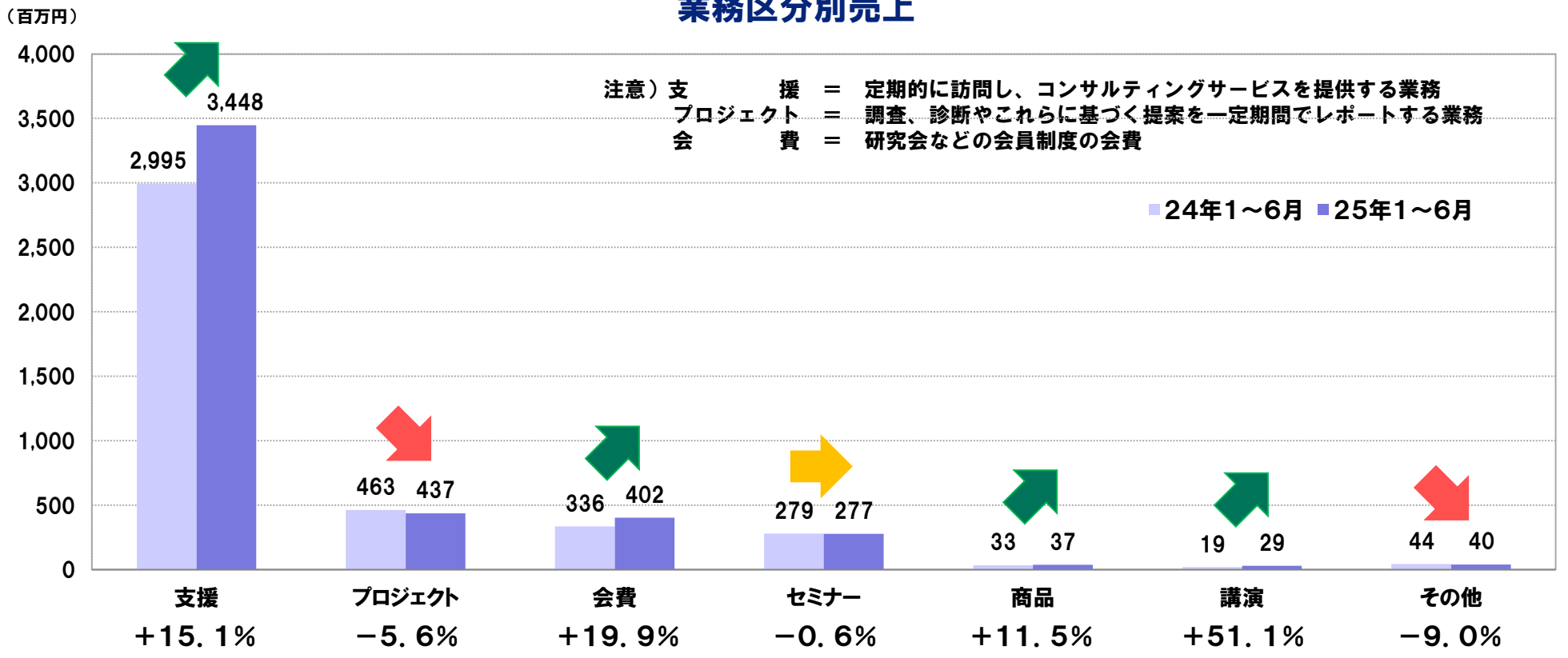
注意：上記数値は、各本部数値を除くグループ別粗々利実績をもとに算出した数値です。（粗々利：売上高から人件費以外の直接原価を控除した金額）

- 当社の主力部門である住宅・不動産、レジャー・アミューズメント業界向けコンサルティングにおいては、順調に業績を伸ばし、前年同四半期比でそれぞれ約10%増の伸びを示す。
- それに続く準主力部門である士業業界、web通販業界、外食・フード業界、自動車関連業界においても堅調に推移し、全体の業績向上に大きく寄与。
- 今期より人員増・体制強化を図っている医療・介護業界については、昨年の2倍の実績を上げる。

2. 平成25年12月期第2四半期決算報告

(2)経営コンサルティング事業における業績動向

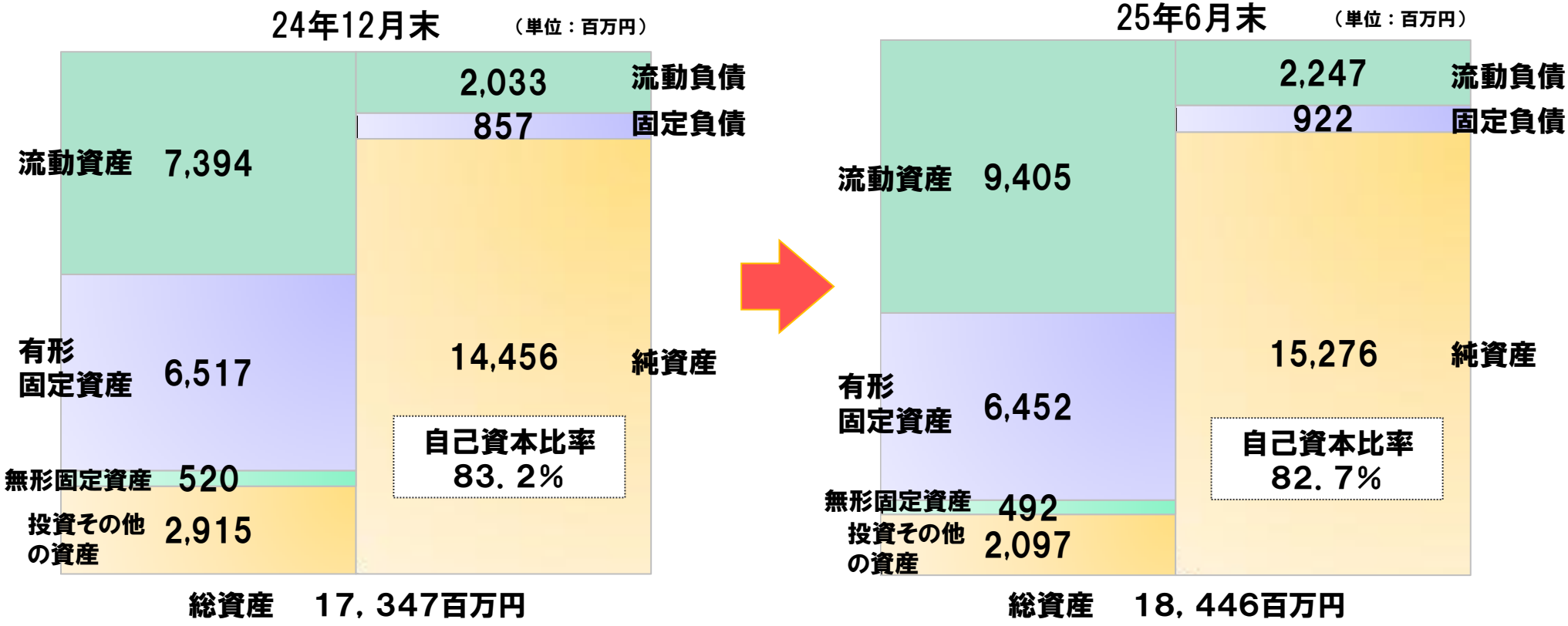
業務区分別売上



- 全体の約75%を占める支援業務は、引き続き好調に推移し、前期比15.1%増。
- 当社の強みの一つである業種別経営研究会の会費収入も順調に増加し、プロジェクト業務に匹敵するまでに成長。
- セミナー収入については、ほぼ前年どおりで推移。

2. 平成25年12月期第2四半期決算報告

(3)連結財務状況（要約貸借対照表）



24年12月期からの増減額	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資その他の資産	流動負債	固定負債	純資産
	+2,011百万円	−65百万円	−28百万円	−818百万円	+213百万円	+65百万円	+819百万円

- 財務状況は、引続き高い自己資本比率(82.7%)を維持しており、健全な状態にある。
- 流動資産の増加は、主に投資有価証券の現金化によるもの。
- 純資産の増加は、主に大幅増益に伴う利益剰余金の増加によるもの。

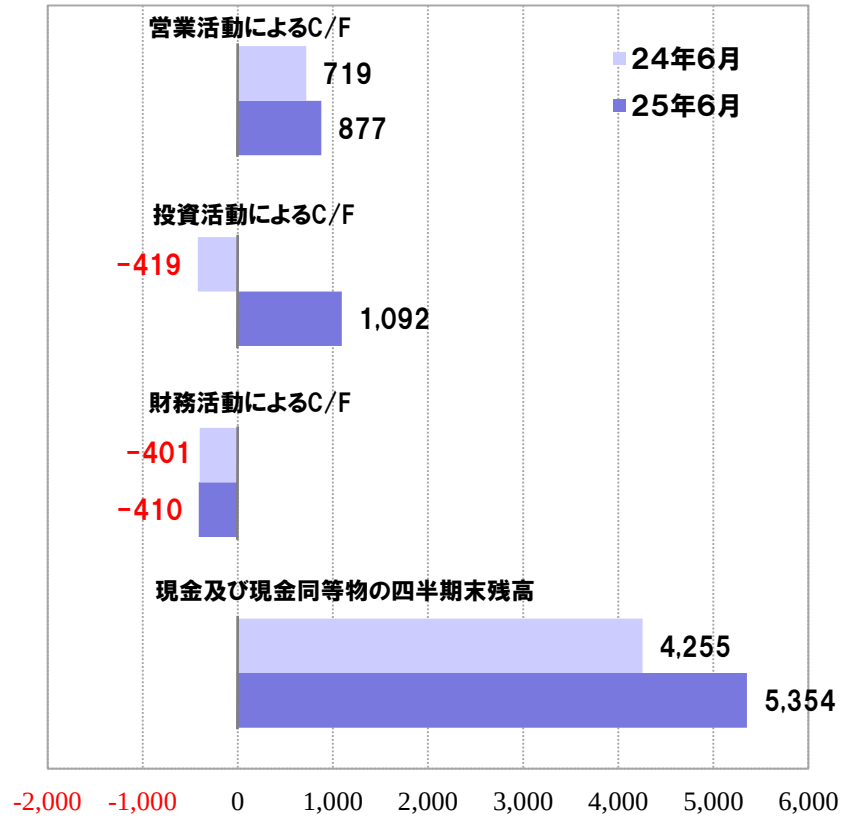
2. 平成25年12月期第2四半期決算報告

(3)連結財務状況（要約キャッシュフロー）

（単位：百万円）

	平成24年6月	平成25年6月	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	1,107	1,466	359
減価償却費	108	104	△ 3
売上債権の増減額(△は増加)	96	79	△ 16
その他の資産の増減(△は増加)	113	△ 1	△ 114
その他の負債の増減(△は減少)	△ 41	△ 76	△ 35
その他	△ 83	△ 44	38
小計	1,300	1,527	227
法人税等の支払額	△ 613	△ 520	93
法人税等の還付額	11	－	△ 11
その他	20	△ 129	△ 149
営業活動によるキャッシュ・フロー	719	877	158
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△ 200	－	200
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△ 1,203	△ 661	542
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	1,020	1,805	784
有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 49	△ 86	△ 37
その他	11	33	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 419	1,092	1,512
財務活動によるキャッシュ・フロー			
リース債務の返済による支出	△ 8	△ 9	△ 0
配当金の支払額	△ 391	△ 448	△ 56
その他	△ 0	47	48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 401	△ 410	△ 8
現金及び現金同等物の増減額	△ 101	1,563	1,665
現金及び現金同等物の期首残高	4,357	3,790	△ 566
現金及び現金同等物の期末残高	4,255	5,354	1,098

（単位：百万円）



■営業活動より得られた資金は、877百万円。税金等調整前当期純利益の増加により、前年と比べて＋158百万円となる。
■投資活動により得られた資金は、有価証券等の売却による収入。
■財務活動により使用した資金は、主に配当金の支払によるもの。

2. 平成25年12月期第2四半期決算報告

(4)株主還元について(配当修正について)

	1株当たり配当金（単位:円）			配当金総額（単位:百万円）	配当性向（連結）	配当利回り（注）
基準日	中間	期末	年間			
22年12月期	10.0	12.0	22.0	618	106.1%	4.3%
23年12月期	10.0	14.0	24.0	675	56.4%	4.4%
24年12月期	10.0	16.0	26.0	731	55.2%	4.9%
25年12月期（予想）	10.0	17.0⇒18.0	27.0⇒28.0	789	43.8%	－

（注）配当利回りは期末時価を基に算出しております

■当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の最重要課題と認識しております。
■7月29日開催の取締役会において、当期の業績の状況を鑑み期末配当金を当初予定の17円から18円へと1円増配させていただくことといたしました。
■よって、平成25年12月期の配当は平成24年12月期より2円増配とし、中間10円、期末18円、年間28円を予定しております。

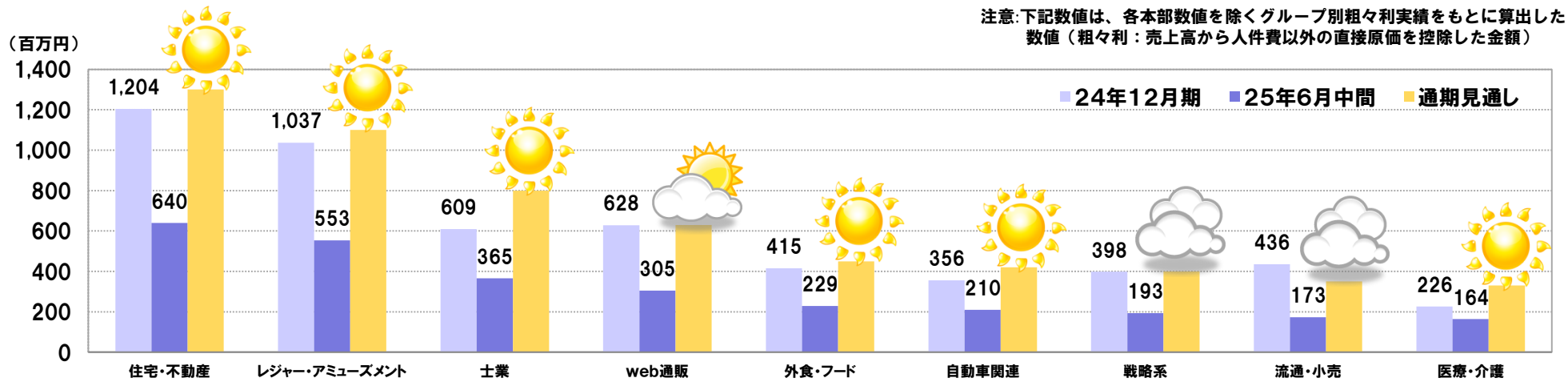
3. 今後の見通しと当社の取り組み

3. 通期の見通しと当社の取り組み

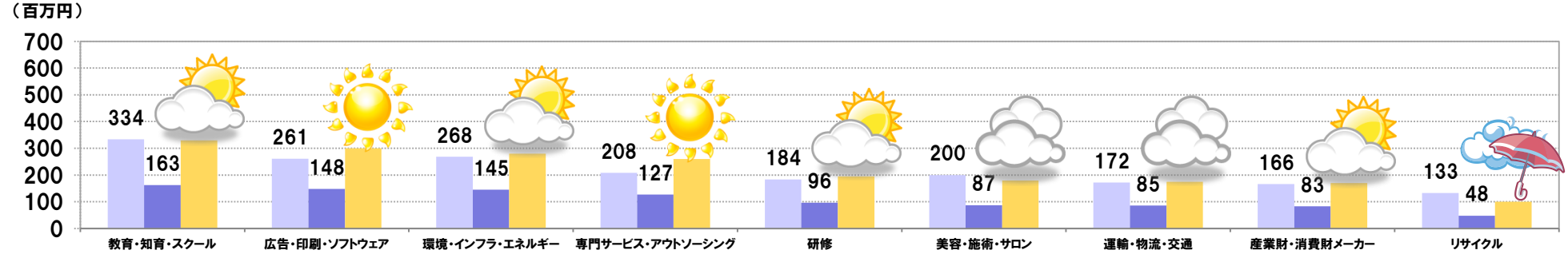
明日のグレートカンパニーを創る Funai Soken

(1)各経営コンサルティング事業分野における通期の見通し

注意:下記数値は、各本部数値を除くグループ別粗々利実績をもとに算出した数値（粗々利：売上高から人件費以外の直接原価を控除した金額）



24年通期実績対25年中間比率	住宅・不動産	レジャー・アミューズメント	士業	web通販	外食・フード	自動車関連	戦略系	流通・小売	医療・介護
	53.1%	53.4%	59.9%	48.5%	55.2%	59.0%	48.6%	39.7%	72.6%



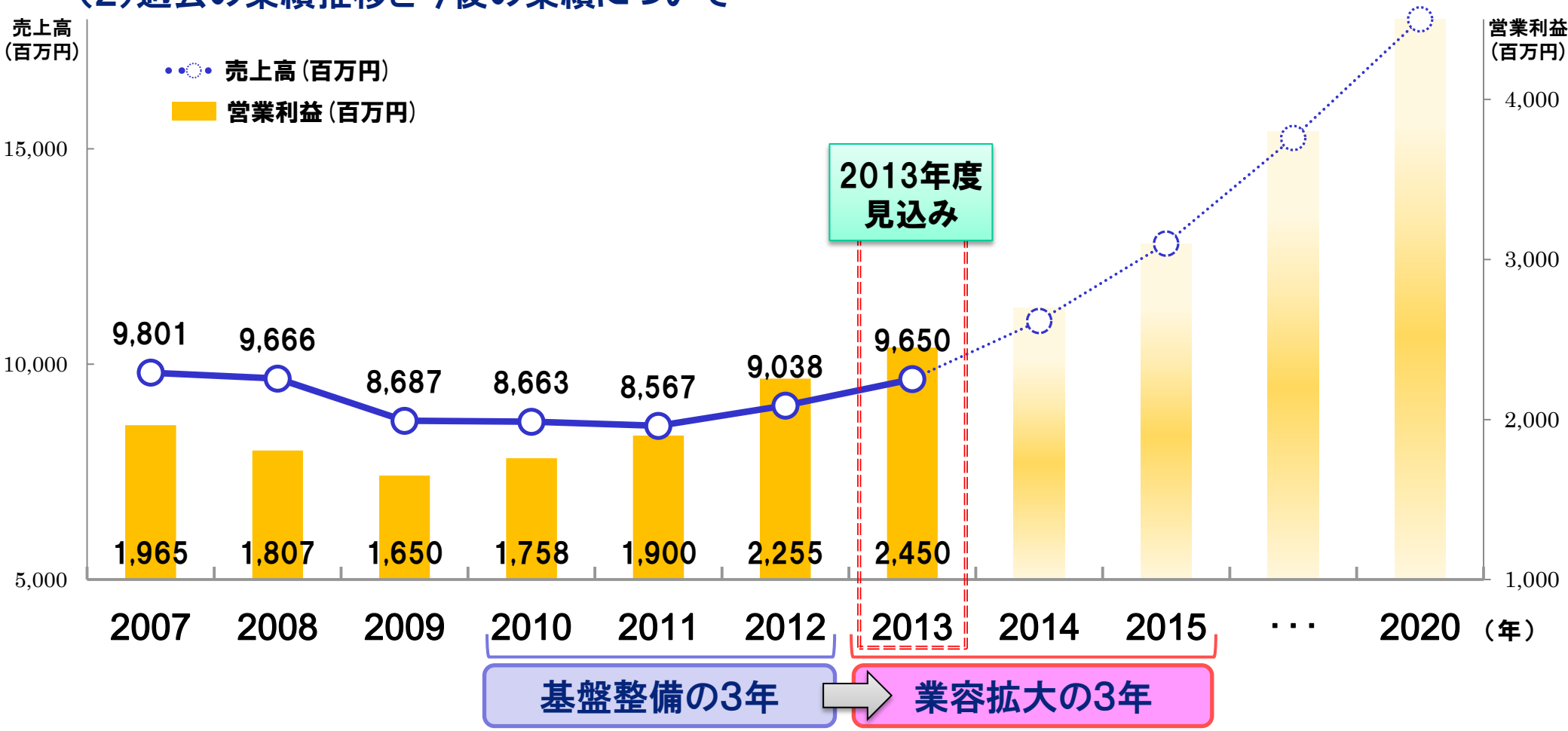
24年通期実績対25年中間比率	教育・知育・スクール	広告・印刷・ソフトウェア	環境・インフラ・エネルギー	専門サービス・アウトソーシング	研修	美容・施術・サロン	運輸・物流・交通	産業財・消費財メーカー	リサイクル
	48.7%	56.9%	54.0%	61.2%	52.3%	43.5%	49.6%	50.1%	36.0%

■ 当社の主力部門である住宅・不動産、レジャー・アミューズメント業界を中心に好調を維持しており、今後も安定的な事業成長を継続できる見通しであります。

3. 今後の見通しと当社の取り組み

明日のグレートカンパニーを創る Funai Soken

(2)過去の業績推移と今後の業績について



■前3年間(2010~2012年度)は、顧客基盤を強固にするとともに、グループ体制の整備を行うことで利益率の向上に努めてまいりました。

■向こう3年間(2013~2015年度)は、業容拡大の3年と位置づけ、成長路線へ舵を切るべく経営戦略の立案と展開を行ってまいります。

3. 今後の見通しと当社の取り組み

(3)持株会社体制への移行について

7月29日開催の取締役会において、2014年7月1日(予定)に持株会社体制へ移行することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

持株会社体制へ移行する目的

- 当社は今後、クライアントからの多種・多様なニーズに対し親身に応えるとともに高品質の経営コンサルティングサービスを提供していくことを目指していく
- そのためには、新規事業の設立やM&Aなどによる機動的かつ戦略的な事業領域の拡充が必要
- さらには、グループ全体のガバナンスを維持しつつ、業容を拡大し、当社グループの成長を加速させる

→ **持株会社体制への移行が最適であると判断**

今後のスケジュール

2014年2月下旬(予定)
分割計画承認取締役会
⇒
2014年3月下旬(予定)
分割計画承認株主総会
⇒
2014年7月1日(予定)
持株会社体制へ移行

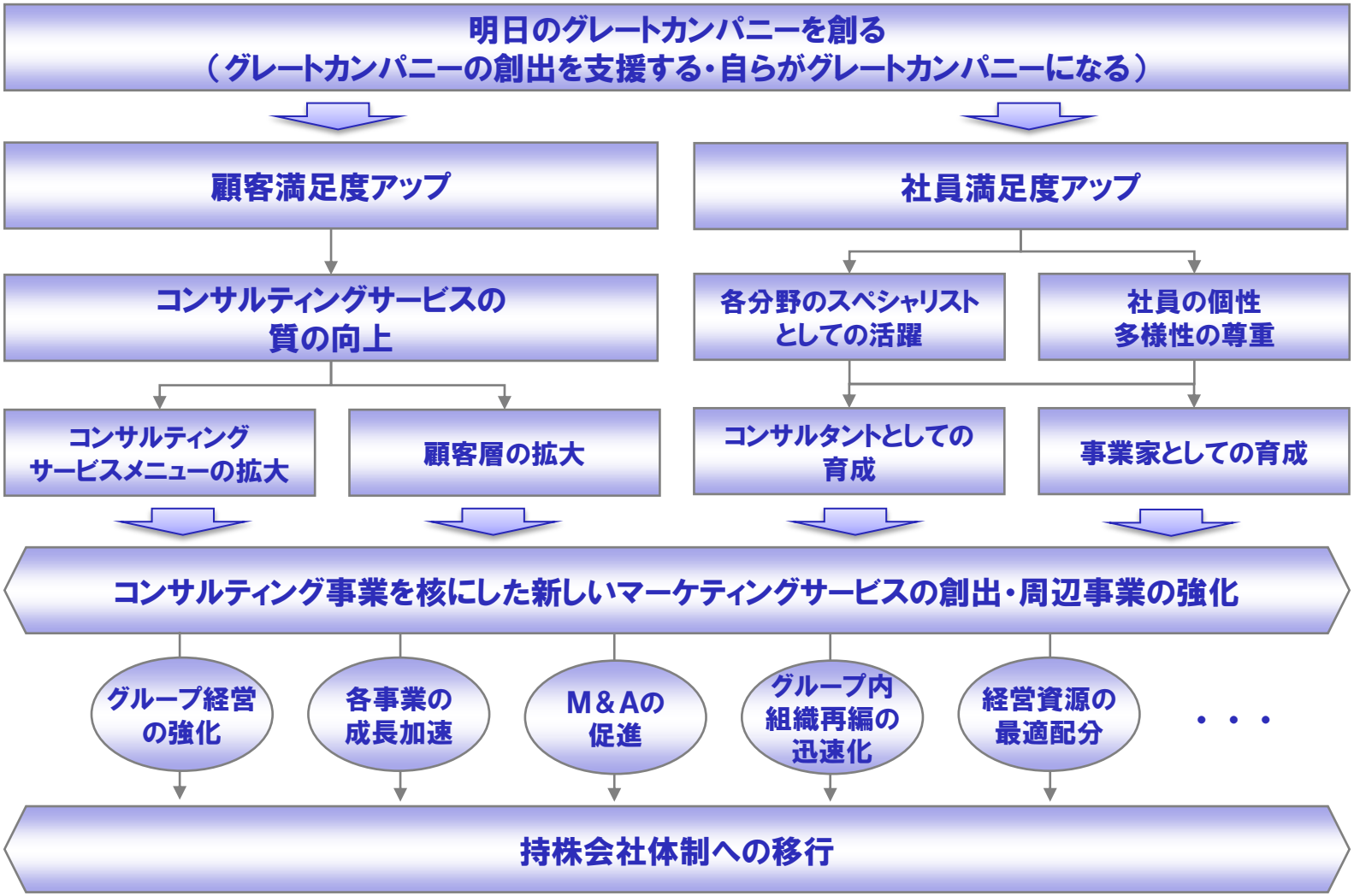
持株会社体制への移行方法

当社は上場を維持した状態で会社分割により持株会社体制へ移行いたします。
2014年7月1日に当社を分割会社として子会社として事業会社の「株式会社船井総合研究所」と「新設シェアードサービス会社(商号未定)」を新規設立し事業承継を行い、当社は同日付にて商号を「株式会社船井総研ホールディングス(仮称)」に変更する予定であります。

3. 今後の見通しと当社の取り組み

(3)持株会社体制への移行について

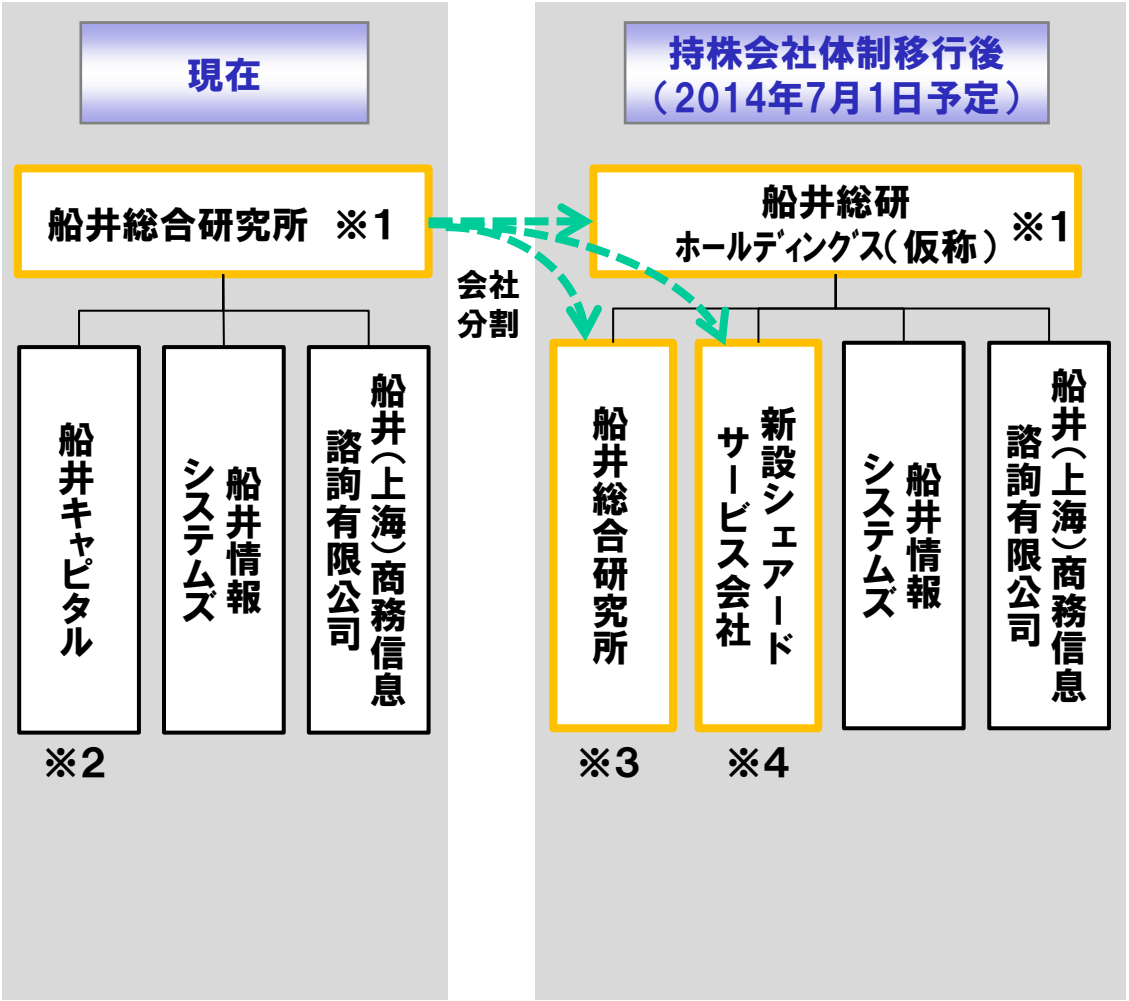
当社グループが更なる成長を加速させるべく、持株会社体制への移行を決定したベースとなる戦略の方向性を下記の通り、示させていただきます。



3. 今後の見通しと当社の取り組み

(3)持株会社体制への移行について

持株会社への移行については、当面2014年7月1日を予定として進めてまいります。



※1 当社。2014年7月1日に「株式会社船井総合研究所」から「株式会社船井総研ホールディングス(仮称)」に商号変更予定。持株会社として主にグループ戦略の立案及びグループ経営管理を担う。

※2 2013年中に清算結了予定。詳細は2013年6月18日に公表した「特定子会社の解散及び業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※3 2014年7月1日に「株式会社船井総合研究所」から会社分割により新規設立予定。従来のコンサルティングサービスを提供する事業会社。

※4 2014年7月1日に「株式会社船井総合研究所」から会社分割により新規設立予定。現在の「株式会社船井総合研究所」の営業サポート部門を中心に分離独立させ、各社の連携・成長をサポートする事業会社。グループ各社がコア事業に専念できる環境を整備する。

【本資料に関する注意事項】

本資料に掲載されております計画や見通し、戦略などは、現時点において入手可能な情報や合理的判断を根拠とする一定の前提条件に基づいた当社の判断による予測です。
従いまして、実際の業績などは、今後の様々な要因により、これらの見通しとは大きく変動する場合があります。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害などに関し、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承ください。

本資料は投資誘導を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願い致します。

IRに関するお問い合わせ先

株式会社　船井総合研究所
スタッフ統括本部　IR推進室　斉藤　英二郎
TEL: 03-6212-2923　　FAX: 03-6212-2940
Mail: ir@funaisoken.co.jp　URL: http://www.funaisoken.co.jp